

令和元年5月31日発行



農業担い手メールマガジン（第272号）



<トピックス>

1. 農地バンクが変わります！
2. 農作業中の熱中症を予防しましょう
3. 6月14日（金）「農業現場における新技術の実装に向けたマッチングミーティング（第6回）」の出展企業を決定！
4. 「フード・アクション・ニッポン アワード2019」募集のお知らせ
5. 「飼料用米多収日本一」、令和元年度の参加者を募集中です！
6. 農作業安全を広く呼びかけるポスターデザインを募集します
7. 農林水産技術会議事務局から研究成果情報等のお知らせ

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. 農地バンクが変わります！】

先般の国会審議を終え、5月24日（金）に農地バンク改正法が公布されました。

農地バンクは、農地の分散状態を解消し、農地の集積・集約化を進めるための仕組みとして、2014年に創設されました。

今回の見直しに当たって、農地バンクのこれまで4年間の実績を踏まえるとともに、現場の方々と意見交換を重ね、見直し内容を検討してきたものが形となりました。

今回の見直しのポイントは、次のとおりです。

- ・地域の関係者が一体となった人・農地プラン（地域農業の将来の設計図）の実質化
- ・農地バンクの手続の簡素化や農地の集積・集約化を支援する体制の統合一体化
- ・中山間地域における対応の強化

詳しくは、以下URLのパンフレットをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/kikou/attach/pdf/index-133.pdf>

◇問い合わせ先

農林水産省経営局農地政策課

TEL：03-6744-2151

【2. 農作業中の熱中症を予防しましょう】

気象庁の1か月予報（令和元年5月23日発表）によれば、北日本では期間の前半、東日本・西日本では期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

特に、高齢の農業者の方がほ場やビニールハウスで一人で作業をされる時には注意が必要です。農林水産省のホームページに掲載している「農作業中の熱中症対策について」では、実際に起こっ

た熱中症による死亡事故の事例、暑さ指数を参考にした作業量の目安や、熱中症が疑われる場合の対処法など具体的な熱中症対策について詳しく解説しています。

こうした情報を参考にし、特に気温が高い日の作業は、こまめに水分や塩分を摂取し、休憩をしっかり取るなど十分に注意して行っていただくとともに、周りの農業者の方等への積極的な周知（声かけ）もお願いいたします。

◇農作業中の熱中症対策について

http://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/index-84.pdf

◇お問い合わせ先

農林水産省 生産局 技術普及課 生産資材対策室 安全指導班

担当者：細田、小屋松

TEL：03-6744-2111

FAX：03-3597-0142

【3. 6月14日（金）「農業現場における新技術の実装に向けたマッチングミーティング（第6回）」の出展企業を決定！】

農業者の皆様と技術提案者が新技術について直接対話できる「マッチングミーティング」について、今回は品目（耕種、畜産）を横断し、規模を大幅に拡大して「スマート農業スタートダッシュミーティング」として開催し、過去最多の40社が出展します。多数の企業等の新技術を一度に検討できる貴重な機会です。ぜひご来場ください！

◇詳細はこちら

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo01/190528.html>

◇参加申込みはこちら

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/kanbo/kihyo01/mm6th.html>

◇お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課

担当：太田、田島、表谷（ひょうたに）

TEL：03-6744-0494

E-mail:Innovation_group@maff.go.jp

【4. 「フード・アクション・ニッポン アワード2019」募集のお知らせ】

地域の農林水産物や食文化を活かした魅力的な産品を発掘するコンテスト「フード・アクション・ニッポン アワード2019」の募集を開始しました。

今年度は「日本の産品と出会い、“あなたの逸品”を発見しよう」をテーマに、大手百貨店、流通、外食事業者等が審査委員となり、国産農林水産物の魅力を活かした優良な産品をコンテスト形式で発掘し、各社の流通販路を通じて消費者にお届けします。

また、今年度は都内で試食会を含めたイベントを開催し、来場された消費者の皆さまに、対象製品の5つのカテゴリにおいて、「これは！」と思う“あなたの製品”を選んでいただき、その場で投票していただきます。イベントで得票数の多かった5つのカテゴリのトップを最終審査会にて、「特別賞」として表彰します。

ご自慢の逸品を大手の流通事業者にPRする機会です。みなさまのご応募をお待ちしております。

応募期間：令和元年5月24日(金) から7月12日(金) まで

応募主体：農林水産物の生産者、食品製造業者、加工事業者等

応募産品：国産農林水産物の消費拡大に寄与する農林水産物及び加工食品等

応募条件・方法等の詳細は、下記URLをご覧ください。

<https://fanaward.jp/>

◇お問い合わせ先

フード・アクション・ニッポン アワード事務局

TEL：03-6272-5169

E-mail：foodaction-award2019@eventsupporter.jp

農林水産省食料産業局食文化・市場開拓課（担当：井上）

TEL：03-6744-2352

【5.「飼料用米多収日本一」、令和元年度の参加者を募集中です！】

多収を実現している先進的で他の模範となる経営体を表彰し、その成果を広く紹介する「飼料用米多収日本一」を開催しています。参加者の方には、全国はもとより地域内や同じ品種内での単収順位等の結果をお返りする予定です。我こそは！と思われる腕自慢の生産者の皆様のご参加をお待ちしています。詳しくはお近くのブロック事務局までお問い合わせください。

◇募集締切：令和元年7月1日（月）

◇応募条件の詳細はこちら

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/siryouqa.html>

◇昨年度受賞された皆様の取組概要

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/attach/pdf/siryouqa-82.pdf>

◇お問い合わせ先

お近くのブロック事務局へお問い合わせください。

（ブロック事務局一覧）

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/attach/pdf/siryouqa-87.pdf>

（農林水産省内窓口）

農林水産省政策統括官付穀物課

TEL：03-3502-5965

【6. 農作業安全を広く呼びかけるポスターデザインを募集します】

農林水産省では、春の農作業安全確認運動の一環として、現在、「農作業安全ポスターデザインコンテスト」を開催しています。

募集は、令和元年6月21日(金)までです。ふるってご応募下さい！

◇詳しくはこちら

<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/sizai/190325.html>

◇お問い合わせ先

生産局技術普及課生産資材対策室

TEL：03-6744-2111

【7. 農林水産技術会議事務局から研究成果情報等のお知らせ】

(1) 多収の温暖地西部向け日本めん用小麦「びわほなみ」－製粉性に優れ、もちもちとした滑らかなうどんが作れます－

温暖地西部向けの日本めん用小麦品種「びわほなみ」は、従来品種「農林61号」や西日本の代表的な小麦品種「シロガネコムギ」より多収です。「びわほなみ」の製粉性は、「農林61号」より高く、オーストラリア・スタンダード・ホワイト(ASW)と同程度以上に優れます。小麦粉はアミロース含量が21%程度と低く、もちもちとした食感の滑らかなうどんが作れます。

◇詳しくはこちら

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/warc/129077.html

(2) 黒穂病(くろほびょう)などの病害に強く倒伏しにくい飼料用サトウキビ新品種「やえのうしえ」－南西諸島向け、国内で自生する野生種を用いて育成－

農研機構は、黒穂病抵抗性が極強で耐倒伏性に優れる飼料用サトウキビ新品種「やえのうしえ」を育成しました。

◇詳しくはこちら

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/karc/129744.html

(3) ウェブで使える「デジタル土壌図」に 新表示機能と新データベースを追加

ウェブ公開中の「デジタル土壌図」に、データ表示機能を追加しました。北海道、秋田県、および茨城県が公表している土壌の種類に応じた標準施肥量などを、土壌図から各地点の土壌に応じて参照できるようになりました。また、全国の農耕地土壌の透水性や保水性を示す特性値マップを追加公開しました。

◇詳しくはこちら

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/niaes/121744.html

(4) 中規模養豚農家へ導入可能な豚舎洗浄ロボットを開発－生産効率の向上と安心・安全のアピールに効果－

日本の養豚業者の多くを占める中規模農家にも導入可能な豚舎洗浄ロボットを開発しました。厳しい環境下で行われる豚舎洗浄作業を人に代わって行うとともに、洗浄・消毒の徹底を通じて病害リスクを低減させ、消費者に対する安心・安全のアピールに寄与します。

◇詳しくはこちら

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/iam/129767.html

(5) 平成30年度農業機械安全性検査合格機(第7次分)ー基準をクリアした安全性の高い農業機械

ー
農研機構は、より安全な農業機械の普及を図ることを目的に、農研機構法第14条に基づき農機具の安全性検査等を実施しています。このたび、平成30年度第7次分として安全基準に適合となった6機種18型式について、公表しました。

◇詳しくはこちら

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/iam/129005.html

(6) 小型で簡便な花蕾採取機を開発 ー国産果実の安定生産に向けた花粉の国内自給率向上に貢献ー

農研機構は果樹の花蕾採取作業を大幅に省力化できる花蕾採取機を開発しました。開発機と慣行手作業の作業時間を比べると、スモモでは約7割、ナシでは約8割を削減可能でした。

◇詳しくはこちら

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/iam/130443.html

◆◆◆編集後記◆◆◆

各地で記録的な猛暑となった5月。慣れない暑さと、朝晩と日中の寒暖差が身体にこたえますね。本号で紹介した熱中症の注意喚起を読みながら、つい作業に集中しがちな自分を反省し、対策の重要性を再認識したところです。熱中症を知り、意識して予防に取り組んでいきましょう。(兼田)

■ 経営局公式Facebookページ「農水省・農業経営者net」

→ <http://www.facebook.com/nogyokeiei>

■ ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

■ リンクURLの一部にPDF形式のものがあります

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。PDFファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3PDFファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンでAdobeReaderをダウンロードしてください。

→ <http://www.maff.go.jp/j/use/link.html>



○ 電子出版：農業担い手メールマガジン

- 発行日 : 毎月1回発行
- 発行元 : 農林水産省経営局経営政策課 担当: 吉田、兼田

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ http://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyouto/hyousyouto_merumaga.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

